

## 平成23年度まちづくり地区懇談会の開催結果をお知らせします

テーマ：元気なひとづくり・元気なまちづくりをめざして

### 次 第

- 1 市長あいさつ
- 2 市からの説明
- 3 質疑応答・意見交換



### 開催会場等と掲載ページ

開催月日	会場名	参加者数	掲載ページ
10月3日(月)	落合生活館	18人	3～4
10月4日(火)	我路生活館	9人	4～5
	進徳生活館	10人	5～7
	西美唄福祉会館	10人	7～8
10月5日(水)	東明西福祉会館	11人	8～9
	市民会館	20人	9～11
	日東福祉会館	13人	11～12
10月6日(木)	東4条福祉会館	19人	12～13
	峰延福祉会館	22人	13～15
10月7日(金)	東福祉会館	11人	15～16
10月11日(火)	茶志内中央福祉会館	13人	16～17
	南美唄福祉会館	8人	17～18
10月12日(水)	光珠内福祉会館	5人	18～19
計	13カ所	169人	

美唄市地域経営室

**目 標** 人を元気に まちも元気に 光り輝く美唄へ

**基本姿勢** 若さと行動力による形の見えるまちづくり  
道政・市政の連携

目標 I 元気な人づくり

- ★重点1 人にやさしい健康で元気なまちづくり
  - ・東地区に子育て支援複合拠点の設置 ・文化・スポーツの振興
  - ・生きがいや健康づくり運動の推進 ・高齢者・障がい者等の総合相談窓口設置
- ★重点2 市民との協働による人づくり・地域づくり
  - ・道央圏大学との連携によるサテライトキャンパスの開設 ・自然環境の保全（宮島沼）
  - ・循環型社会の整備（ごみ処理対策等） ・家庭・学校・地域の連携強化
  - ・学力向上・体力向上の推進
- ★重点3 安全・安心の推進
  - ・危機管理に関する専門部署の設置 ・地域医療の確立

目標 II 元気なまちづくり

- ★重点4 農業の振興
  - ・道営基盤整備事業の計画的推進 ・国営基盤整備事業の計画的推進
  - ・雪氷エネルギーを活用した食糧備蓄基地構想の推進 ・TPP・EPA反対
- ★重点5 農商工連携
  - ・農産物の高付加価値化 ・特産品の開発・販路拡大による雇用創出
  - ・農産物・特産品販売のネットワーク化 ・新たな観光ルート開発
- ★重点6 国・道との連携強化
  - ・きめ細かな情報収集 ・情報交換

新たな取り組み

- ・経営会議の設置（庁議を再編） ・情報を一括管理する部署の設置
- ・地域経済円卓会議（仮称）の設置

**平成22年度一般会計決算について**

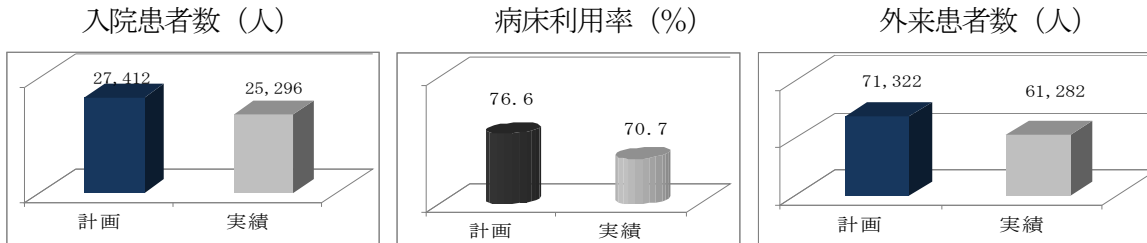
- ・実質収支で約5億円の黒字となりました。
- ・健全化判断比率等については、国が定める早期健全化基準を下回っています。

平成22年度一般会計決算 単位：千円

歳 入	17,086,478
歳 出	16,568,252
差 引	518,226
翌年度繰越額	14,262
実質収支	503,964

## 市立美唄病院の経営状況について

・市立美唄病院の資金不足比率は経営健全化基準の20%を上回っていることから、平成22年3月に経営健全化計画を策定し、その推進、進行管理に努めており、今後さらに健全化に向けた取り組みを進めていきます。  
 ・平成22年度では、計画と比較すると、医師数の不足により入院患者数や病床利用率及び外来患者数が下回りました。



## 地域医療について

### 今後の取り組みとして

限られた医療資源を活かしながら、市民が安心して生活できる持続可能な医療体制の構築を図るため、地域医療全般について検討する「地域医療体制の在り方検討委員会」を本年9月に設置し、平成23年度末までに一定の方向性を見い出します。

また、検討経過をお知らせするとともに、市民の皆さんの声を反映する機会を設けます。

〈検討事項〉 今後の地域医療体制に関することほか

〈構成員〉 市長、市立病院長、一般病床を有する医療機関の長など 計6名

## ごみの減量化・再資源化について

燃やせるごみ	エコの丘で埋め立て処理
燃やせないごみ	破碎処理後、金属類は売却し残渣をエコの丘で埋め立て処理
粗大ごみ	破碎処理後、金属類は売却し残渣をエコの丘で埋め立て処理 修理により再利用できる自転車は、リサイクルフェア等で販売
資源ごみ	9種類の品目のうち乾電池・蛍光管はリサイクル業者へ引き渡し ほかの8品目は、分別作業後売却

※ 生ごみ以外の燃やせるごみは、岩見沢・月形との広域処理について検討しています。  
 また、生ごみの堆肥化については、市民の意見を聞きながら検討していきます。

## 高齢者・障がい者等要援護者マップ作成事業について

- ・目的 災害時における要援護者への迅速な支援対策の実施のため
- ・背景 独居高齢者や高齢者のみの世帯が急増し、親族や地域との交流が希薄になる「無縁社会」が広がり、地域での支え合い体制の整備が必要となっています。
- ・事業の内容 ～ 市が社会福祉協議会に事業委託し実施
  - ①市の情報に基づき、民生児童委員の訪問により要援護者の基礎的情報を収集します。
  - ②個人情報保護に配慮しながら、行政と民生児童委員等関係機関の要援護者情報の共有を図ります。  
(日常的な見守りや相談活動につなげます)
  - ③要援護者マッピング(地図)システムをつくり、災害時などに、安否確認を迅速に行い、支援を円滑に実施します。

ご意見の内容に応じて次の区分で表示しています。

凡例 (協)協働のまちづくり (医)地域医療 (福)福祉 (生)生活環境  
(防)防災 (都)都市整備 (経)経済 (農)農政 (教)教育

## 平成23年度開催結果

開催日時	平成23年10月3日(月)	参加人数	18人
会場	落合生活館		

### <主な質問・意見と回答>

#### (農)アライグマが山に増えてきているが、捕獲したものは駆除しているのか。

→アライグマは元々日本にいない外来種ですので、捕まえたアライグマは猟友会でガスを使い殺処分しています。

#### (協)専修大学の赤字を市で補填して大学を残すことはできなかったのか。

→専修短大存続のため前市長の時代から経営主体である学校法人に要望していました。

学生数の減少により短大の経営が困難になり、学校法人側で最終的にこちらの意向を確認する前に募集停止を決めてしまい、赤字を補填する方法がとれなくなりました。

#### (医)茶志内の旧希望ヶ丘病院について。

→倫生会美唄病院について、3年位前から建物の老朽化により、移転・改築を検討されており、美唄市内の候補地を探していたようです。入院患者が減少し、医療関係のスタッフも美唄ではなかなか採用できなくなったことから、現在、江別に病院を建築中で、来年の春に開業すると聞いています。

#### (医)救急の場合、症状にかかわらず必ず美唄の市立病院に行って、そこから砂川か岩見沢に搬送されることになっているのか

→平成20年から美唄市は救急の窓口を市立病院に一本化したため、この体制をとりましたが、必ずしも市立病院に搬送するわけではありません。救急隊員が容体を判断し、電話により容体を市立病院の医師に説明して医師の指示のもとに適切な病院に搬送するという形をとっております。

#### (生)新聞紙の回収は業者へ電話して呼ばなくてはダメか。

##### 資源ゴミ、空きびんとかダンボールを売却するというのは、分別して売却しているのか。

→町内会で廃品回収をしているところもありますが、美唄市内では個人で業者を呼んで回収するのが一般的です。

資源ごみは南美唄のリサイクルセンターで分別処理作業をしていて、それぞれペットボトル、空きびん、発泡スチロールなどに分別して売却しています。

資源ごみの売却収入は、ダンボール、紙パック、アルミ缶・スチール缶を合わせて860万円の収入、ペットボトル、プラスチック合わせて670万円の収入、合計1,530万円程度の収入になります。

#### (都)除雪が年々雑になってきている。運転手の腕が悪い。

→除雪する人が年々高齢になってきて辞めていく方が多く、それに伴って若い人達が育ってきていないというのが業者の実態です。何年か経験を積めば技術は育ってきますが、苦情等がありましたら市に連絡をいただければ現場を見て対応します。

**㊦ まちづくりの名案などはあるか。**

→例えば若い人達が美唄で仕事ができる環境を整えるということも私達の仕事でしょうし、あるいは子育てがしやすいまちをつくっていくというのも大事なことだと思います。お年寄りが安心して暮らせるというのも重要なことだと思っております。そういったすべてのものを総合して行っていかなくてはなりません、財政的にも非常に厳しい状況ではあるものの、国や北海道としっかり連携を図って、いろいろな事業を持ってこられるように精一杯営業活動をしてまいります。

**㊦ 要援護者マップを作った場合、社会福祉協議会で保管するのか市役所で保管するのか、このマップは各地区でつくるのか、民生委員のエリアで作るのかどうか。**

→情報は基本的に市が保管します。調査は社会福祉協議会にお願いして、そこから個別の民生委員に調べてもらいます。民生委員については基本的には地域だけ、社協については今回調査する2千数百人を振り分ける作業の中でこの調査に限り、情報を使えるという規制をかけています。個人情報についてはきちんと保護いたします。

**㊦ 要援護者マップは、高齢者と障がい者が対象となっているが、青少年についてはどのように考えているか。**

→子どもさんたちについても同様の心配があると思いますが、取り掛かりとしまして弱い高齢者の方を優先的にと考えております。

開催日時	平成23年10月4日(火)	参加人数	9人
会場	我路生活館		

**<主な質問・意見と回答>**

**㊦ 除雪は何センチ積もったらしてくれるのか。**

→市道に関しては車道は13cmです。道道の場合は概ね10cm~15cmと聞いています。

**㊦ 朝早く起きて除雪しても、その後ダンプ車がきて道路の固い雪を家の前に置いていくのはなんとかできないか。** →運転手の方に、配慮していただくよう伝えます。

**㊦ 美唄川の木が邪魔で先が見えない、なんとか見通しをよくしてほしい。**

→道に伝えて回答をもらいます。

**㊦ 3条通りの遠藤板金の前の道路、砂袋を置いても破れて水が溜まるので道路の補修を。**

→現場を確認して地域の方とご相談させていただきます。

**㊦ 警察にも言ったが、夜に車がうるさくて眠れない。**

→市と警察で連携を図って注意を促すようにいたします。

**㊦ サイクリングロードの木も見通しが悪い。お金がないならボランティアで切ってはどうか。**

→熊が出没するため通行止めにしており管理が行き届きませんでした、これからきちんと管理します。

**㊦ 医師がいないのはどこの病院も同じか。**

→美唄で医師が足りないのが現状ですので、医師が来てくれるように探す努力をしています。

**⑤ 月給をたくさん出せば医師は来てくれるのでは。**

→そのような医師も中にはおりますが、市民の方々の病気をしっかり治してくれる志の高い医師が来てくれるのが望ましいと思っております。

**⑥ バスの便数が少なくなったため、市内に行く回数が減っていて不便なため小さなバスで良いから、便数を多く運行してほしい。**

→我路地区の市民をタクシーで運ぶ計画があります。時間を設定してタクシーを1日に3回往復させます。地域への説明会は11月の末から12月にかけて行います。1人からでも片道200円、往復400円で、バスと同じ料金で乗ることができます。

**⑦ 数年前に大腸ガンが見つかり、美唄市内の病院で手術を断られたため砂川で手術し、またガンが転移したため手術を受けたのも砂川で、現在も検査のため砂川に通院している。できれば市立病院に移りたいが、市立病院に手術ができる医師を呼べるのか。**

→医師の確保ができれば美唄で入院ができる体制が整いますが、まだ確定はしておりません。市外に通院するため交通費の負担が大きいということですので、交通手段は必要ではないかと思っています。

**⑧ 飼えなくなった猫を捨てていく人がいる。**

→広報紙に載せて、決して動物を捨てたり放棄したりすることのないように呼びかけます。

**⑨ 鹿の駆除について。**

→鹿は定期的に猟友会で駆除しています。農家の作物にも被害が多くありますから、そちらのほうも電気柵を作って入られないようにしています。

**⑩ 東美唄出張所から上の坂を登った住宅前の道路は舗装になっているが、そこからまだ坂の上に登って行く道路は、大雨が降るとわだちができて、そこにたまった水が下に流れてきて車のはまってしまうことがあるため、できれば簡易舗装してほしい。**

→状況を見て判断していきたいと思えます。

開催日時	平成23年10月4日(火)	参加人数	10人
会場	進徳生活館		

**<主な質問・意見と回答>**

**⑪ 美唄市の指定している避難所は本当に安全な場所になっているか一度確認してほしい。進徳だけではなくて他の所も確認して、もし安全でなければ場所を移してほしい。**

→市では3月の東日本大震災を踏まえて防災計画の見直しを進めています。

各避難所の安全性の点検については、施設の管理者の方にもお願いしておりますが、市内に51か所指定されている避難所のうち、災害の状況に応じて、どこかの避難所を開設するかを決め、市から連絡させていただき、安全を確保したいと考えております。避難所の設置場所についても改めて検討いたします。

**⑫ 自主防災組織の組織率が美唄市の場合8.2%。道では48.9%。全国では74.4%となっており、美唄市は極端に少ないので、それに対する対策はどう考えているのか。**

→自主防災組織については、美唄市内に12組織ありますが、組織率が8.2%ということで、全国、全道に比べて非常に低い状況にあります。過去にあまり大きな災害がなかったからということも考えられますが、いつ大きな災害が起きるかわかりませんので、市では、防災訓練の指導、資機材貸与などにより自主防災組織の設立を呼びかけています。

**都 私道には市の除雪車が入らないのか。**

→市役所の除雪車が私道に入っていけるかどうか現場を確認いたします。

**生 進徳町は老人が多く、バスしか移動手段がない市民がいるが国道12号線沿いでありながらバスの便が悪い。市営バスの路線はこちらのほうには来られないのか。**

→進徳線の市営バスの運行について、市としてはできるだけ皆さんに市営バスに乗っていただいて、まちへ出やすくなるように交通体系の見直しを考えています。

**都 駅の中の待合所には電気もなく、暖房もない、夜になると真っ暗になる。**

→駅の中につくった新しい待合所にはベンチに暖房が入っています。

**協 生活館の維持管理費に3年間、助成を受けていたが来年で終わる。私たちも協力するので、なんとか助成をなくさないでほしい。**

→改めて検討いたします。

**生 ごみステーションに1か月以上も空き缶が入ったまま回収されていない。分別の間違いで回収できない場合は、説明書きをしてくれれば直すのでその辺を徹底してほしい。**

→公共ごみのシールがありまして、このシールを貼り、2週間経過すれば運搬の人が回収してくれるという仕組みです。町内会長さんを通してサンアール推進員に年間24枚のシールを配付しています。

**福 インフルエンザの予防注射を従来の形に戻して、お金を払ってくださいというのは大変ではないかと思う、助成について検討をしたほうがいいのではないか。**

→2年前の新型インフルエンザは今までにないタイプで、もしワクチンを打たず蔓延してしまったら日本中が大パニックになるので、低所得の人には国から全額助成してワクチンを打つ方法をとりました。

今年からは従来の季節性インフルエンザの接種ということで3年前の枠組みの中で対応することになりました。ワクチンの薬剤は混合ですので1回打てば去年、一昨年のタイプにも対応しています。

市だけでは国以上の助成ができませんのでご理解いただきと思います。

**都 線路から東側は水洗化していない。いつ聞いてもあと5年位で工事するとかいう話しか聞かなくてこないのか、ダメなことはダメとか見通しが立たないとか、もう少し考えてほしい。**

→進徳東団地の団地内の中では下水道の整備計画のエリアには入っています。ただし、現在、団地が老朽化していることもありますが、今のところは下水道の整備をする予定はないということです。

**医 市立病院の対応の仕方、内科とか整形の事務員は人を馬鹿にしている。事務員さんばかりでなくて、看護師さんにも言えるので、そういうことの見直しも必要だと思う。**

→接遇の研修もやっておりますが、再度お話をしてお話させていただきます。

**協 教育の関係で、例えば6月と9月に三井保育所で地域の交流を行うので、保育所の子どもたちと地域の人たちが一生懸命支え合い触れ合っている姿を、市職員は一人でも二人でも足を運んで見に来ていただきたい。**

→市役所の職員に通知して、できるだけ参加したいのですが、他の業務の関係ですべてには行けないところがありますので了解していただきたいと思います。

**① 進徳地域の汲み取りの方法は**

→進徳地区は収集月を決めています。4月、7月、10月、1月以外の月の収集は520円の特別料金が、かかります。

開催日時  
会場

平成23年10月4日（火）  
西美唄福祉会館

参加人数

10人

**<主な質問・意見と回答>**

**① 外来患者数の患者数と年齢層は。**

→経営健全化計画と比較して内科は5,314人、整形外科は2,722人延べ人数で減少しております。年齢構成については資料がありません。

**② 病院の経営健全化計画というのは、いつの実績か**

→健全化計画を平成21年から実施していますが、実績については直近の患者数、診療単価をベースにしています。

**③ 計画と実績が減少した原因は**

→内科の医師が減少したため外来患者数も減少し、入院も受けられなくなりました。  
コンビニ受診を控えるようPR活動をしたところ1,000人ほど減少し、救急外来も減りました。  
全体的に診療控えということで患者さんの受診件数が落ちています。

**④ 医師を確保する目星はついているのか** →何人かの医師と接触しております。

**⑤ 西美唄小学校を統合したいという要望があるので、市としてどのような考えを持っているか  
お聞かせ願いたい。**

→西美唄小学校統合推進委員会から西美唄小学校を平成25年4月から中央小学校と統合してほしいという要望がありましたので、教育委員会と協議して基本的には地域の要望に沿った形で進めます。  
11月に統合準備委員会をつくる予定です。

**⑥ 美唄市でも花嫁対策の運動を行って欲しい。**

→民間でも花嫁対策の事業を行っておりますので、連携を図って推進していきます。

**⑦ インターネットを利用する際の光回線のエリア拡大を早くやってほしい。**

→本年11月、12月と美唄電話交換局の範囲で光回線のエリア拡大が行われますが、市内にはほかに、茶志内、峰延、上美唄の電話交換局があり、この3か所では光回線が入っていないので、早急にNTTと協議をします。

**⑧ 西美唄福祉会館の運営が厳しいため、援助してほしい。会館の水洗化について連合会からも  
要望しているが、水洗化した場合の維持管理費が高いと予算が足りなくなると思う。**

→地域の皆様方の意見を聞き、財政状況も考慮しながら運営について協議を進めたいと考えております。

**⑨ 消防のサイレンを音楽に変えることができないか。**

→普段は優しい音楽で災害の時にはサイレンを鳴らすことを検討していきます。

**⑧美唄市の食糧備蓄構想は進んでいるのか。**

→食料備蓄構想につきましては、国と北海道に要望活動をしています。

食糧備蓄の実証実験するため候補地に 30 t～40 t クラスの備蓄倉庫が必要となりますが、7年間の実証実験の1地区は美唄でできそうだというお話はいただきました。

**⑨まちづくり地区懇談会の全日程が終った段階でどこの地区でどういうご意見、要望があったということを一覧表にしてもらいたい →そのようにいたします。**

開催日時  
会場

平成23年10月5日(水)  
東明西福祉会館

参加人数

11人

**<主な質問・意見と回答>**

**⑩救急で病院に行った人がいたが、外科の先生がいて、内科は午後からだという話だった。救急で来た場合は診察してくれないと困る。**

→基本的に市立病院が救急の窓口になっています。救急車で運ばれた場合も、担当の医師は輪番制で他の病院から来ていただいた医師が診察します。当番の医師が専門外で診察できない場合は他の病院に搬送する形をとっています。

**⑪救急の病院のことは必ずメロディ載せてほしい。**

→市立病院しか救急を受けておりませんので、市立病院としか掲載できていません。

**⑫救急の場合には重い病気のため、搬送されるときに亡くなる人もいるし、半身不随になる人もいると思う。医師の不足が一番不安なことである。**

→市民の安全を守るために市長が先頭に立って医師の確保に努めます。

**⑬東明生活館ではまちづくり地区懇談会をしないのか。東明1区、2区の人はこちらから遠い。**

→次回から開催場所について配慮いたします。

**⑭私たちの町内は大雨が降った場合に水が行く場所だが、市としては地域における防災関係のマップをつくって緊急の対応ができるようになっているのか。**

→石狩川を中心とした大雨による河川の増水、浸水を中心とした被害想定をしたマップがあります。

排水溝が未整備のところは押えていますので、大雨が降った際に雨がどちらの方に流れて、どのあたりに被害が予想されるかということは、自主防災組織などもつくっていただき、地域の皆さんと一緒に把握したいと思っております。

**⑮ごみの袋を燃えるごみと、燃えないごみとで色を分けてもらいたい。滝川では5種類の色で分けているためわかりやすい。→検討いたします。**

**⑯40ℓ入りの袋はあまり使うことがないためバラ売りできないか。→検討いたします。**

**⑰数年前には各世帯にラミネート加工した説明書をもらったが、今は配布されていないので同様のものがほしい。→各家庭に配布する分かりやすいものを検討いたします。**

⑩ 岩見沢の介護施設が何十人も入所待ちをしているので、美唄にも介護施設を建ててほしい。  
→施設のベッド数を増やすと、介護保険料も増加します。入所者は数名しかいなくても、該当者みんなで納める保険料が多くなります。

⑪ 東明中央団地は来年壊す計画だが、来年の8月と言わないで7月頃壊して引っ越しできるようにできないか。→そのように計画いたします。

⑫ 雇用促進住宅は国の方で壊すのか。→国で解体する予定です。

⑬ 青柳冷蔵と白樺毛糸の工場跡がひどい状態、美唄市のイメージダウンにつながるので、処置していただきたい。

→施設の跡地については個人の所有するものなので、市で独自に撤去することができないため、持ち主と協議を進めて対処していきます。

⑭ ごみの堆肥化をすると、燃やせるごみのより細かい分別を求められるため、高齢者でもスムーズに分別できるように時間をかけてPRをしていただきたい。

→生ごみの堆肥化に関しましては、先進地を視察して方法について勉強いたします。

開催日時	平成23年10月5日(水)	参加人数	20人
会場	市民会館		

### <主な質問・意見と回答>

① 国民健康保険は、保険税率の改定によりが2012年度からの値上げが予想されるが、どのように認識されているか。

→負担比率に関しましてはまだ決まっておりませんが、皆様方と協議をさせていただきます。方向性が決まりましたらメロディー等で皆様方にお示ししていきたいと思っております。

② 市立病院の2010年度の決算は、7か年計画の目標に対してどうなっていると認識されているか。

→医師の不足により診療収益が計画よりも1億2千万円ほど落ちました。支出の部分で計画より落ちましたが、平成22年度の人件費で職員が退職した場合の退職手当組合から特別負担として、3年に1回の清算が22年度にありました。これは計画以上に職員が辞めた影響もあって特別負担金が増えた状況があり、計画よりも営業の部分で赤字が増えました。

平成23年度は患者が確かに減っています。診療控えという状況もあります。23年度は現在の状況でいけば黒字になると推定しています。

たまたま22年度は悪い数字が出てしまったということでご理解いただきたいと思っております。

③ 医師の確保の問題で、前院長のときに公然と自分の気に入らない医師は外すとか、私の知り合いの医師も赤平に行かされたとか、力のある外科の医師も砂川の病院にまわされたことがあったらしく、そういうことが医師の確保への障害となっていないのか。

地元出身の医学部を卒業した方が数名いて、美唄の病院に勤務する希望があっても医師の世界も派閥があって入れないという話を聞くので、医師の世界でも人間関係等が災いしていないか。

→あり得ないことと思っております。今後のお医者さんの確保についてはそのようなことがないようにしっかりと努めていきます。市立病院は今医師不足の状況で、北大、旭川医大、札医からは出張して来ている医師もおります、現在は医局の中で派閥は存在していないと考えております。

**⑫ 財政状況について、以前にこの難しい文字よりも家計簿的に分かりやすくなれないかと質問したが、その時に検討してみますと言うだけでまだ難しいため、また検討してほしい。**

→わかりやすい財政状況の説明資料を作成いたします。

**⑬ 市長が元気な人づくりとまちづくりをされると言われたが、市の職員に対してどのように教育をしているのか。**

→あいさつ運動ということで全庁的にポスターをつくってしっかりとあいさつができるようにキャンペーンを始めました。震災を受け節電の問題もありまして、全庁的に節電運動を行ってまいりました。今後若い職員を中心に職員の研修、民間への派遣、そういったものを積極的に行ったり、あるいは中間管理職の研修も行ってまいります。

**⑭ 日東の美唄病院、昔の希望ヶ丘病院について、100人以上が働く企業が知らないうちに江別に建て替える。美唄から出て行く前にその旨の相談が美唄市になかったのかどうか。**

→美唄に存続してもスタッフの確保に結びつかないなどの理由がありました。交渉の段階でしっかりとそれらの問題を整理して一緒に物事を解決していくという姿勢が重要だったのではないかと思います。

**⑮ 3・11の東日本大震災によって電話がつながりづらくなったことから、市役所の屋上に衛星無線電話の設備を1台でも置くよう整備をしていただきたい。**

→民間の会社でも災害時における通話の確保について事業を進めているようですので、民間企業の状況を見ながら市としても対応していきたいと考えております。

**⑯ 市職員の駐車場で、駐車料金を徴収して駐車させているのと同様に、小中学校の教職員にも学校の校庭を整備して駐車料金を徴収して駐車させるようにしてほしい。**

→現状難しい状況です。

**⑰ 行政委員の報酬は、実働に合わせて支出することはできないのか。**

→すでに日額報酬となっているものもありますが、引き続き、他市の動向を見ながら、どういう方法が適正なのか検討いたします。

**⑱ 岩見沢市での学校給食の食中毒事件を受けて、道教委が全道552か所を調査し、535か所が指摘された。美唄の給食センターは指摘箇所になったのか、そうであれば改善しなければならない箇所はどこか。**

→美唄市も指摘を受けまして、改善する個所の一つは、給食センターで調理したものを学校まで運搬する際に、そのままの温度を保つような保温缶に入れておくこと、温度を保つにはセンター内と配送車に保温設備が必要になるため、1つ1つの入れ物に保温（冷）剤などを入れる方法で対策を進めています。

もう一つは調理してから一定の時間で学校まで運ぶということがあげられました。

温かい料理と冷たい料理を同時に完成させてできるだけ短い時間で運ぶことが必要ですので、方法を研究して早い時期に改善したいと思っております。

**⑲ 土地開発公社の状況はどうなっているか。**

→土地開発公社の土地は売却ができていない現状ですが、今年に入っていくつか目途がついているもの、あるいは問い合わせ等が多くなってきていますので、今後も売却に努めてまいります。

⑬ 公契約条例を全国の市で設けつつあるが、実態が分かればどういうものか教えてほしい。

→本州方面で市町村が発注する公共事業について、企業の従業員の人件費の水準を確保するため、条例制定が始まったと聞いています。道内では、札幌市が検討中と聞いていますので、他市の動向を見ながら、必要性について検討していきたいと思っています。

⑭ 国保会計が大変厳しい。それを補うためジェネリック医薬品の使用状況を高めれば医療費が安く済むし、国保会計も支出が少なくなると思う。

→ジェネリック医薬品については国が推奨しています。入院の場合で言えば療養病床でジェネリックも使っていますが、その比率は10%以下になっております。

外来は院外処方にしたことによって、医者にお話をすればジェネリックに変えていただけるということが基本にあり、ジェネリックの使用が増えてくると考えております。

⑮ 学校統合後の跡地利用計画はどうなっているのか。菜の花を植えて油を活用しているところもある。

→学校統合による跡地利用について、現在、市役所の中に検討組織をつくり具体的な検討をしています。そのうち2か所は市の避難場所の指定もされておりますので、防災ステーション的な位置づけで使っていくことと、地域で活用できることがあれば、合わせて検討していきます。

開催日時  
会場

平成23年10月5日（水）  
日東福祉会館

参加人数

13人

### <主な質問・意見と回答>

① 市の職員の方と市長さんは市立病院で診察を受けるところを見たことがなく、それで市民に市立病院に受診してほしいというのはおかしいのではないかと思う。

玄関に入ったときに労災病院からみると、陰気くさく病気が治る気がしない。

→市立病院に関しては、職員に市立病院の活用について促していきたいと思っていますし、市立病院の雰囲気があまり良くないということで、職員の対応や雰囲気について現場の人達と話し合いながら、改善に努めたいと考えております。

② 自治組織代表者会議が午後1時30分からあり、出席する予定だったが、時刻表の時間を見たら帰りのバスがなくて出席できなかった。車がある人ばかりではなく、年寄りでも町内会長を務めている人はいるので、もう少し考えてほしい。

→今後、開催のしかた、開催時間も含めて検討していきます。

③ 市長の「私の目指すまちづくり」の中で円卓会議の話が出たが、郵便局は出てこないのか。

→地域経済を把握するための円卓会議ですが、関連する企業の方々に集まっていただいて、年に数回行います。郵便局にも入ってもらうことを検討いたします。

④ 町内会が払う防犯協会の会費は、銀行の振込用紙だったが、会長に指摘すると郵便局の振込用紙にしてもらえることになった。ほかは何度お願いしても、一向に話しは進まず、銀行口座の用紙を持ってくる。日東に銀行の支店があれば振込みはできるが、今は美唄市内まで行っている。→各団体に、会費等の納入場所に郵便局も入れていただくよう、お伝えします。

**⑧ 東日本大震災があり原子力発電所に事故があった。原子力に代わる自然エネルギーの活用を進めるべき。**

→メガソーラーの（大型太陽光）話があったときに候補地として手をあげましたが、美唄の特性上、雪が多いため太陽光発電には向いていないと判断されたようです。

今回の震災の教訓を機に、食料の備蓄の需要が非常に高まっており、雪冷熱を使った食糧備蓄基地の誘致を進めています。

開催日時	平成23年10月6日（木）	参加人数	19人
会場	東4条福祉会館		

**<主な質問・意見と回答>**

**⑨ 地域医療の全体について、美唄は札幌に近く砂川や岩見沢に病院があり、市民は恵まれていると書かれているが、今後の市立病院自体はどういうような考えかということが中身に何も記載されていない。結局は緊急で病院にかかられても今後は砂川とか岩見沢に受診していただくというような意味にとれる。**

→地域医療に関する懇談会で出された意見を記載させていただきましたので、この意見がそのまま形になるというわけではありません。今後の検討委員会を進めていくうえでの意見として、参考にさせていただきます。

**⑩ 体育センターをなんとか継続してほしい。**

→財政健全化計画の中では廃止の方向で進んでいたのですが、計画の段階ですから見直しもできます。議会と協議をしながら、市と教育委員会もどのようにしたら存続維持できるかということをしかりと議論して結論を出し、ご報告いたします。

**⑪ 高齢化社会というのは避けて通れないと思う。この数字は27.3%だったと思う。**

→65才以上の高齢者の割合はこの間まで33.1%でしたが、現在は33.3%です。

**⑫ 市そのものが高齢化をどこかでマイナス面で捉えている。マイナスイメージじゃなくてプラスと言う面でこれから行政にあたってほしい。**

→元気な方はどんどん社会参加をするべきだと思っております。その社会参加をするしきみをみんなでつくっていかなくてはなりません。社会参加にアイデアをいただければありがたいと思います。

**⑬ 要援護者マップを何に使うのか作成段階で明らかにしてほしい。防災計画をつくるときに、避難所で生き延びるためにどういう施設がいいか、臨場感のあるものを少し真剣に検討していただきたい。**→机の上で想定した防災計画では、現場の臨場感がないと思います。情報をいただきながら防災計画の見直しをして市民の皆様を示していきます。

**⑭ 民間で資源回収に回すとか、各家庭でコンポストを使い生ゴミの処理をすれば、新たな中間処理施設は作らなくても済むという選択肢もあると思う。**

→情報を公開しながら進めていく予定です。またそのご意見をいただく場面もしかりと設けていかないとありませんので、皆様方のご協力を願います。

⑧健康食品の業者が美唄に来て販売している。高額の商品を業者の言いなりに買わされる人もいる。美唄には5～6件の業者入っているらしく、苦情が消費者センターに入っていると思うが、市では掌握しているか。

→明らかに違法なものであれば、警察や商工会議所と連携をとりながら対応していきます。消費者相談に寄せられた代表的な事例がある場合は、広報紙に消費者情報として掲載しています。

⑨夏の間、街灯に蛾がものすごく集まるため、蛾が来ないようにものしてほしい。

→市道については、器具の交換時期にあわせて蛾が寄り付かないナトリウム灯に換えています。

開催日時	平成23年10月6日(木)	参加人数	22人
会場	峰延福祉会館		

### <主な質問・意見と回答>

⑩農業基盤整備事業についてはどの程度進んでいるか

→美唄では、現在道営事業ということで、峰岩地区、中美唄地区、沼の内地区の3地区で事業を実施しています。国の事業で全て国の予算との兼ね合いで実施をしておりますが、全体計画の中では若干遅れている部分があります。

このほか美唄の中では、茶志内地区の基盤整備を国営事業として国に要望しており、今の時点の概算要求額で2億円の事業費となっています。

⑪国道12号線の4車線化はどうなっているか →国道の4車線化については、地域の方々のご意見を聞きながら進めていくことが原則となっておりますが、最終的な合意に至っておりません。

⑫インターネットに病院の口コミサイトがあるが、小児科の診療についての評判が悪い。

→医師の確保を全力で進めているところでありますが、現在のところは、なかなか丁寧に行き届いた対応ができていないので、改善に向けて努力をしているところです。

⑬昔は病院内に薬局があったが、現在では院内処方できないか。

→医療法の基準により配置する薬剤師の人数が決まっております。薬剤師が確保できない状況の中で患者さんの待ち時間を減らす手法として院外処方に切り替えましたので、ご理解いただきたいと思っております。

⑭これから病院を改革するためには、今までのような市立病院のやり方ではダメだということ。医師も集まらなかつたら今までのようにもいかないと思う。

→市立病院の役割としては土曜、日曜、休日あるいは夜間の救急の受付や、人工透析を行っています。

地方で手術を受けた方が、術後の入院中にある程度回復されると退院させられてしまうため市立病院は療養病床として患者を受け入れています。医師会の先生方と協議した際に、救急の場合は患者数が増えても構造的に黒字になる体質になっていないため民間の病院では受け入れないというお話を聞きました。

民間にすべてお願いすることは難しい状況であるということもご理解をいただきたいと思っております。地域医療の中にある市立病院の位置づけもしっかりさせなければならないと思っています。

⑮道路の工事、舗装や側溝整備など以前は、峰延なら峰延から対応してほしいと要望書を上げてそれに基づいて決めていたが、今はどうなのか。

→道路の要望につきましては、町内の連合町内会で取りまとめ、市への要望として提出していただき、その中からまた連合町内会の方との話し合いながら優先順位等を決めています。

他にも緊急という場合は電話等で受付しておりますので、連絡をいただければ対応していきます。

**都** 北海幹線沿いの道路舗装について、要望書を上げて町内の順番を決めていたが、峰延は下水道工事が終了したら順次進めていくということだった。下水道工事はみんな終わったのにまだ道路整備にかかってない。

→今年度予算で入札行為をして業者を選定して工事の着手をするという目途が立っております。ご要望のあった路線については、比較的広い範囲で砂利になっている部分から舗装整備していきます。

**医** 労災病院と市立病院との統合問題について話し合いはなかったのか。

→旧労災病院と市立病院との統合の問題について、現在は進んでおりません。

**協** 専修大学が廃校になるが、土地や建物などかなりの設備がある。今年度で学生も卒業するのでそこを活用することはできないか。

→学生が卒業されても一定程度の期間は学生のために職員が残ると聞いています。施設の活用については未定ですので、今後、専修大学と協議を進めていきます。

**生** エコの丘は平成 19 年に開始したが、長く使っていただきたい。岩見沢は焼却炉に決まったという話は聞いているが、美唄のごみもそちらに持っていくのか。

→現在、岩見沢と交渉をしている最中です。生ごみは基本的に土に返したいということで循環型社会の構築に向けて、地球の環境に負荷をかけない方法として、堆肥化を進めていきたいと考えております。その他の可燃ごみについては、岩見沢の焼却炉に持っていく予定です。まだ具体的な形は示されておりませんが、燃やした場合の焼却灰は持ち帰ってエコの丘に埋め立てるという課題もあります。

**生** 分別してごみを出しているが、間違えていた場合回収車が印をつけていく。その後一週間経つと回収していくが、それなら最初から印をつけなくてもいい。

→回収車が印をつけているわけではなく、分別ごみの判断をするサンアール推進員という地域の見回りをしていただく方が、ごみステーションを巡回した際にいつまでもごみがあったらシールを貼り、公共ごみとして回収する方法を取っております。

**生** 岩見沢の焼却炉はどのようなものか。

→ダイオキシンが出ないような焼却方法になっていると承知しております。

**生** 美唄にも焼却場があったが、美唄でごみの焼却をできないか。

→美唄の焼却炉は国の基準に達していないため、使用できない状況です。それを改修して基準をクリアさせるためには、膨大な費用がかかります。

**教** 進徳の教員住宅は空家になっているが解体しないのか。 →今後、計画的に取壊しを進めます。

**協** 旧光珠内小学校の校舎はどうするのか。

→校舎については、今後どう活用するか市役所の中に検討組織をつくって検討しています。旧光珠内小学校は特に避難所の指定もされており、防災上の機能も維持していきますので、早急に今後の活用方法を取りまとめたいと考えております。

**医** 市立病院の古い看護宿舎も空いていますが、取り壊すことは考えていないのか。

→行政目的が終了した建物に関しては一定の整理が必要で、古くなれば改修や解体をいたしますが、今のところはまだ考えておりません。

**都 古い市営住宅を解体する計画はないか。**

→古い団地については将来的に解体することを考えております。

**教 峰延中学校に来年入学する生徒は2人か3人で、更に次の年は生徒が1人しかいない。そういう状況の中で、何か合理的な手法でも検討されているのか。**

→児童が少なくなり、小学校では複式の授業が増えています。中学校も生徒数が減ってきておりますが、美唄市内の中学校と小学校合わせて6校のうち、一部の学校で複式の授業が増えてくるものの教育委員会としては統廃合する計画はありません。

**生 市民バスについて、教育委員会で使っているバスが2台あるが、予約しないと乗れないという話が運転手から出た。**

→市営バスの混乗ですので、特に予約しなくても乗ることができます。バスを運行する会社に確認して、乗車できていなかった場合には対応いたします。

開催日時

平成23年10月7日(金)

会場

東福社会館

参加人数

11人

**<主な質問・意見と回答>**

**都 旭通りの整備はどのように行われるのか。**

→旭通りの幅員の関係ですが、道の事業で、道が主体的に行っていくということで認識しております。地域の要望等をしっかり取りまとめて、道に要望していきます。今後、協議を進める中で明らかになった場合は皆さんにご説明申し上げていきたいと思っております。

**あ 美唄市のホームページにまちづくりのアンケート調査が出ていたが、以前と同じで道路が狭いなどの要望しかなかったような気がする。多くの市民がまちづくりそのものを理解していないので、もう少しPRをしていかないと、いつもと同じくアイデアは出ないと思う。遠慮しないで市民を使うことを考えたほうがいいのではないか。**

→広報メロディーなどでまちづくりがどのように進められているかをお知らせしていきたいと思っております。

まちづくり出前講座で、市の仕事の内容を知りたいというご希望があれば、担当者が地域に伺いましてご説明し、意見交換などもしております。また、地域応援チームとして市の職員4～5名がチームで町内会の皆さんの所にお邪魔をして、町内会だけでは解決できないようなことがあれば市としてお手伝いをさせていただきます。

**あ 美唄のまちがどうやったら良くなるか、どうすれば市民の幸せにつながるのか、それを24時間考える部署なり、専門の職員がいてもいいのではないかと思う。**

→地域の活性化というのは単に経済の活性化というだけではなく、人的交流など、人とのつながりなどが活発になれば生きがいですとか、そういったものも生まれてくる。やっぱり美唄に住んで良かったなどというまちになるのではないかと思います。経済行為も必要になってきますので、基幹産業の農業を中心とした地域経済の活性化を担っていくべきで、食料の備蓄基地、農商工連携、あるいは観光での交流人口を増やす、例えば美唄に来てもらって美唄をみてもらうとか様々な経済行為というものがあると思っております。これらの一つひとつ着実に成果を見せていかないと、次につながらないと思っております。

**⑧企業誘致の面にも大きな目を向けていただきたい。**→企業誘致の事業については、今年度、国の補助事業で、1,300万円ほどの予算をつけて、企業誘致プロモーション事業を展開しております。企業を生み出すことにも力を入れます。若者でも会社を起しやすく、自らの力で会社をつくって経済行為を行うことも重要なことだと思っております。地域の青年経済人ですとかそれらに関係する方々と連携して、研修会も行うなど、市としても協力していきたいと考えております。

**⑨企業誘致をするために、助成金を出すとか、税金を免除するなどしてもほとんど成功した例がない。そういうことを期待しないで企業を誘致したほうが良い気がする。**

→企業に進出してもらうための優遇措置は、自治体間の競争になっており、ある程度の支援制度を設けなければ、美唄市に来てもらえないという考えです。美唄市を選択していただく一つの条件として制度は必要かと思えます。

**⑩美唄の人口減対策について。**

→人口を増やす要素としては市内に働く場所があるということ、もしくは周りの地域に仕事に働きに行く環境が整っていることが重要です。美唄の食を生かして観光客にきてもらうルートの開発を行います。美唄だけでは完結できないので、近隣の市町村とも連携をはかって観光ルートを開発していくことが必要だと思えます。また、中国の大連市との交流も行います。

開催日時	平成23年10月11日(火)	参加人数	8人
会場	茶志内中央福祉会館		

**<主な質問・意見と回答>**

**⑪美唄市で子育てママサークルの活動しており、来年には美唄市で顔の見える子育て応援活動として魅力的なイベントを開催したいため、可能な限りの支援をお願いしたい。**

→地域福祉ネットワーク事業により、先進的な事業に取り組まれる方に助成するという形をとっています。

**⑫美唄には子育てを応援するとか相談できる所がなく、相談を受けてもらえる窓口を設ければ、お母さん達の支えになれるのではないかと思う。子育てに関する本当に正しい知識をお母さん達に伝えられる窓口をつくりたい。**

→美唄市は子育て支援のモデル地域であり、北海道でも七飯町と美唄だけです。子育てに対してどのような支援が本当に必要なのか情報を集めた中で、行政としてやれるべき事は率先してやっていきたいし、新しい取り組みだと思えますのでこの辺は十分に検討いたします。

**⑬生ごみの堆肥化というのはどういうものを堆肥化するのか中身を教えてください。**

→生ごみについては地球環境に負荷をかけない循環型社会を構築するため堆肥化して土に返すことが重要だと思っております。方法としては生ごみを土に混ぜて堆肥化する、堆肥を加工して小さなペレット状にする、粉末状にして散布するなどの方法がありますが、この堆肥化の方法に関してはまだどのようにするか決まっておりません。生ごみの収集方法も白紙の状態なので、皆様方からのアンケートをもとに今後の施策に結び付けていきたいと考えております。

⑧茶志内小学校は今後どういうふうにするのか伺いたい。→茶志内小学校は地域に残します。

⑧旧茶志内小学校の現状はどうなっているか？

→校舎の活用について市役所の中に検討組織をつくっています。活用方法としては、防災機能を持たせて資材などを保管することも考えられます。また、美浦大橋が開通して国道 275 号と 12 号線の間に道道も開通しましたので、地理的にはいい場所ですので、活用方法がないか検討しています。年内を目途に方向性を取りまとめまして、地域の皆さんと協議させていただきます。

⑧ゆ〜りん館の施設周辺には桜が植えてあるが、もみじも植えることはできないか。

→桜を植樹しても桜が育つ環境ではない場所もあり、林業試験場の先生などにも意見を聞きながら剪定も行ったのですが、生き物として難しく死んでしまうものが多いです。このことについて地域のボランティアの方々とは何を植えられるかということ協賛していききたいと思います。

⑧植樹はボランティアでできるのではないか。

→美唄市には森会という東明公園を守ってくれる方がおられて、東明公園の枝払い、剪定の作業を行っています。森会の方にはどのような植樹が適しているか聞きながら進めていききたいと思います。

開催日時	平成 23 年 10 月 11 日 (火)	参加人数	13 人
会場	南美唄福祉会館		

### <主な質問・意見と回答>

⑧市民が希望することは収入がないとできない、いろいろと書いてあるけど収入がなくてはできないのではないか。

→地域の方々と一緒にお互いにアイデアを出し合いながら、できる方法で進めていきたいと考えております。

⑧街路灯を LED に変えれば電気代が少なくなる。

→今後、管理の問題も充分に考え、検討する必要があると考えています。

⑧白内障で目の手術をしたが、美唄の某病院から目が我慢できないほど痛くなったら砂川の病院へ行ってほしいと言われた。そういう場合に救急車を呼べるのか。

→救急車というのは生命に関わることに限って少しでも早く病院に運ぶことが目的ですので、その場合は公共交通機関などで、病院まで行くようお願いします。

⑧町内に救急車が来た際に、町内会長を務めているため事情を聞きに行った。救急隊の方に「どうしたんですか？」と聞いたら「あんた関係ないでしょ」というような対応をされた。対応、態度、言葉使いには充分に気をつけてほしい。

→救急隊は市民の方を一生懸命守るために最大限の努力をしていますが、接遇に関しましては職員全員に再度指導してまいります。

⑧南美唄で消防の演習をしばらくやっていないので訓練をお願いしたい。

→春と秋に、団本部と美唄の 9 分団を一同に集めて放水訓練と規律訓練を行っております。

⑤市立病院は、前市長のときに労災病院と統合をしてやっていくような話があったと聞いていたが、なぜその話がなくなったのか、今後、労災病院との統合はあり得るのか教えてほしい。  
→前市長のときに統合に向けて動いておりましたが、そのときは統合にはなりません。以前の労災病院は国の管轄でしたが、現在はせき損センターとして独立行政法人が運営しています。統合の考え方が合致すればお互いに検討する余地はあるのではないかと考えております。

⑥美唄市の今の人口に対する災害時の備蓄の食糧、あるいは寝具などについてはどうなっているのか。→今年度、エア TENT、救助セット、毛布、非常食を購入することとしています。今後、5年間程度を目処に備蓄を増やしていきたいと考えています。

⑦自衛隊について、毎年自衛隊のほうから美唄市のほうに交付金が出てると話に聞いているが、これはどういった名目、形でいただいているのか。今後、南美唄に使ってほしい。  
→基地交付金、防衛施設周辺整備事業での補助などがあります。現在、周辺整備事業として、ゴクドウ川の改修と市道西 21 線の整備を行っており、今後、南美唄地区での活用できる事業を検討していきます。

開催日時 会場	平成23年10月12日（水） 光珠内福祉会館	参加人数	5人
------------	---------------------------	------	----

**<主な質問・意見と回答>**

⑧市税の納付率はどのくらいなのか。  
→市税の収納状況につきましては、昨年の決算で収納率が 85. 0%。滞納額が 3 億 6 千万円弱です。国民健康保険税については収納率が 63. 0%で滞納額は 3 億 3 千万円という状況です。

⑨財政健全化計画で、すぐ職員の給与ダウンだとか昇給延伸だとかということを含めてやっておられるが、職員に単純に財政をかぶせてはいけないのではないか。  
→財政健全化計画を平成 20 年からスタートさせまして、8 年間の計画の中で市長の給与を始め一般職の職員の給与も削減をしているところです。職員の給与については財政健全化計画を達成し、早期に復元させたいということで取組んでいます。

⑩税の収納率が 85%で、残りの 15%は具体的な手立てはどうやって講じているのか？100%はあり得ないかもしれないが、85%では低すぎる。  
→5月、10月、12月に部長も含めた、主幹職以上の者が 2 人一組で滞納者のお宅に集金に行っております。差押なども行い、今後さらに公平な納税の確保に努めていきたいと考えております。

⑪国民健康保険税も滞納があり、滞納している人に対するその後の治療費がかかっていると、滞納したまま払わないで終わりなのかという対応をとっているか。  
→短期保険証の交付をしております。税務課の納税相談と合わせて相談を受けています。保険税を納めていない期間が半年から 1 年以上経ちますと保険証は交付しません。本人が病院に受診したいというときには、納税相談に来ていただいて、いくらかでも収めていただき、受診する期間だけ短期保険証を交付しています。

⑫市道 23 線は、左側にガードレールがない箇所があるため危険。  
→危険箇所として現場を確認させていただきます。

**㊦ 高齢者率が高くなったことをどのように感じているのか。年寄りがゆったりと穏やかに生活できる施設、設備が医療を含めて整えてあるべきであって、福祉のまちづくりの基本だと思う。**

→老人が暮らしやすいまちづくりは当然なのですが、60歳未満の労働が可能でしっかりと納税ができる方々、そういった支える側の人口を増やしていくことも重要なことです。若者が流出をしない、あるいは若者が地域に根ざして仕事ができるような総合的な施策を打たなくてはならないと思います。

**㊧ 要援護者マップで民生委員が持っている情報をもっと共有できないか。担当者が必要とする情報は、もう少しオープンにできないものか。**

→国の考え方の中で進めていますので、現場では細かな弊害が出ているということも承知しております。今後は国の考え方を正していく取り組みも地方として必要だと思っております。

**㊨ 旧光珠内中央小学校の活用の見通しはどうなっているか。**

→今年度、市役所で本格的な検討組織を立ち上げ、具体的な作業をしています。今年中を目途に一定の方向性を取りまとめた上で、地域の皆さんとご協議させていただき思います。

**㊩ 旧光珠内中央小学校が緊急避難所に指定されたと広報に載っていた、緊急避難する場合にはすぐ開けなければならないがその鍵はどこにあるのか。**

→市で鍵を管理しております。市役所と離れておりますので、鍵をどちらで保管するか改めて地域の方とご相談させていただきたいと思っております。

**㊪ 小学校が閉校になるときに、グラウンドと教員住宅周辺を年2回を目途に除草をすることになっていたがうまくいっていない。**

→グラウンドの整備等々は、適正な管理ができる方向で進めていくべきだと思います。

**㊫ 校舎の中にその地域に由来する物が結構あるが、どのように処理をする予定か。**

→光珠内中央小学校の歴史的な資料、開校以来の資料があり教育委員会と市で検討しまして、統合先の学校で資料を保管しています。卒業生の記念品も数多くありますので、保存する方法も検討しています。

**㊬ 高速道路が有料に戻った途端、国道12号線の交通量が何倍かに増えた。国道に出ると混んでいる時は右折するのに時間がかかる。北海道に働きかけて早急に4車線化しなければならないのではないか。**

→国道12号線を拡幅する必要性は市としても十分に認識しております。工事をする時期は未定ですが、北海道としても12号線は非常に重要な路線、事業の位置づけとなっておりますので、道と連携を図りながら国に早急な工事の着工と供用開始に向けての要望活動をしていきたいと考えています。

**㊭ 専大は来年3月でなくなる。少なくとも光珠内中央小学校のように閉校したら1年もしないうちに辺りが荒れたような見苦しい形にはなってもらいたくない。**

→専修大学に関しては、今後の施設のあり方、活用のしかたについて大学と地域の方たちで協議をしていきます。

**㊮ 大学が撤退すると専大入口のコンビニも経営が難しくなると思う。撤退されると俗に言う買物難民が出てくる。国道12号線が4車線になれば、コンビニを利用する人が増えるのでは。**

→商工会議所を通じて企業誘致、商店の誘致をしている最中です。光珠内地域に関しては存続に向けた活動をしていきます。